

<装具とは>

四肢や体幹の機能障がいや疾病の治療のために装着します。変形の矯正や予防、機能の代行、関節の固定、立位や歩行の補助などの働きを行います。

短下肢装具とは、本校児童生徒の多くが使用する、主に膝下からつま先までを固定し、動きをサポートするものです。

参考文献：肢体不自由教育 連携で困らないための医療用語集（ジアース教育新社）

<装具装着のメリット>

- ・関節の柔軟性低下や変形の予防の働き
→足関節の安定性を図ることができます。
- ・動きをサポートする働き
→姿勢の安定や動きやすさを得ることができます。



<装具を使う際のポイント・留意点>

- ・装具の状態を確認しましょう。
→足底部分が剥がれたり、破損していたりする部分はないでしょうか。
児童生徒の身体の成長に伴うサイズの不具合はないでしょうか。
- ・装具を使用する場面や時間について確認しましょう。
→保護者や児童生徒の訓練機関などと連携をして、どのような場面において、どのくらいの時間装具を使用するのか（立位や歩行、椅子座位など）情報を共有しましょう。



<短下肢装具装着の実例>

一番大切なことは「正確に装着すること」です。

- ①装具を装着する前にストレッチを行う。→膝や足首が曲がりやすい状態にします。
- ②かかとを装具の奥に入れる。→かかとに穴があるものは指を入れて確認します。
- ③足首のベルトを締める。
- ④足先のベルトを締める。
- ⑤ひざ下のベルトを締める。
- ⑥再度かかとが装具の奥に入っているか確認する。

装具によってベルトの数が違うこともあります。ベルトを締める順番があります。
右の装具の場合は・・・

